

多様な健康長寿社会のためのバウンダリ・スパンナー・デザイン研究拠点

横浜国立大学 YNU研究拠点制度 重点支援拠点

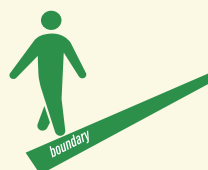
拠点長：島圭介 准教授（工学研究院）

～ 最先端人間支援研究を社会に届けるために ～

工学分野・社会科学分野における技術が融合された **未来志向の「転ばない街づくり」**を目指します

Boundary

超高齢社会に介在する社会的、文化的、技術的、身体的な**境界**を明示化し、境界間に存在する緊張や対立を緩和／解消するための要件を明らかにすることを目指します。



Spanner

様々な境界を橋渡しし、境界を超えた相互の理解を促すための**方法論**を提案します。



Design

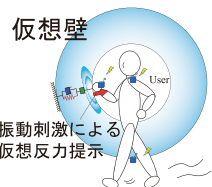
工学、都市科学、社会科学分野の知見を統合することで社会課題の解決に向けた**仕組み**を作り、それを社会へと届ける活動を推進します。



Latest Work：転倒予防・転倒リスク評価技術の社会実装に取り組んでいます

「転倒のない社会」を目指して

転倒リスクの見える化や転倒を予防する技術、
転倒しにくい住まい・まちづくりなどを包括的に研究しています。

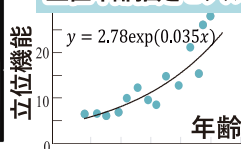


仮想壁による姿勢安定化
とふらつき誘発法

世界初
仮想壁による
立位年齢®評価法
特許6534010/6569148号

機能顕在化

立位年齢推定モデル



**機能
拡張**



転倒予防装置



下肢筋機能
支援ロボット



環境改善

福祉の住まい・まちづくり

YNU リビングラボの運営

神奈川県を中心とする地域住民と一緒に最先端技術を科学する取り組みを進めています。



転倒リスク検査



検査技術に対するディスカッション